

# PORTRAITS

第22回クリエイション紹介作家

『エスクァイア』誌からファインアートまで

アニタ・ケンツ原画展

1998年11月9日月→11月27日金

11:00A.M.-7:00P.M. (最終日は4:00P.M.まで)

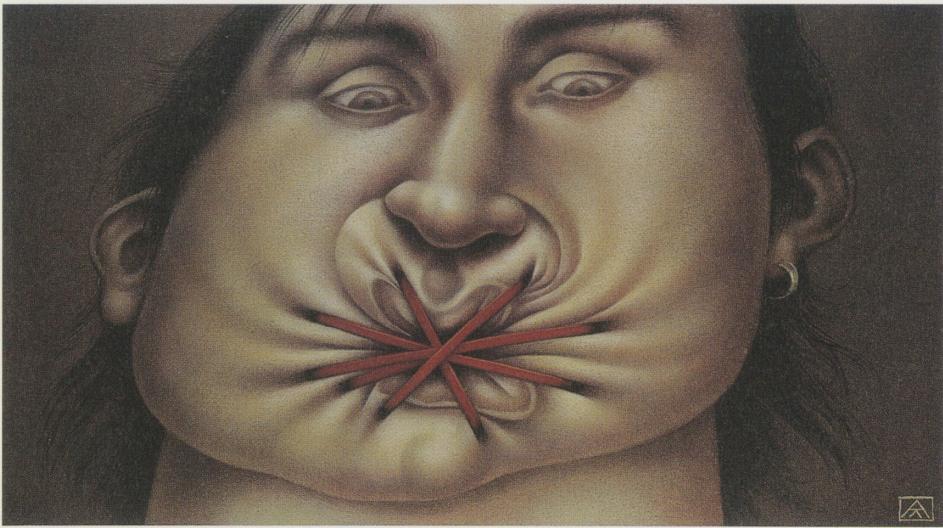
土・日・祝祭日休館 入場無料



Creation  
Gallery  
GB

クリエイションギャラリーGB TEL.03-6601-7004 〒104-0001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZAビル1F TEL.03-3575-6918 主催/クリエイションギャラリーGB 協力/株式会社インターリンク・プランニング ART PARADISE <http://www.recruit.co.jp/914/>

# Anita Kunz



言葉を失って(ローリングストーン誌) 1991年



アニタ・ Kunz ANITA KUNZ

1956年 カナダ・トロント生まれ。

1978年 オンタリオ・カレッジ・オブ・アートを卒業。現在もトロントをベースに、『タイム』、『ローリングストーン』、『ニューヨーカー』、『エスクァイア』、『GQ』などの雑誌や、ソニーミュージック、ランダムハウス出版、広告代理店などの国際的な仕事をつけていている。水彩とガッシュで描かれる絵は高く評価され、その作品は『クリエイション』と『アイデア』(日本)、『グラフィス』(イスラ)、『コミュニケーションズ』(アメリカ)、『アプライ・アーツ』(カナダ)などに紹介されている他、ソサエティ・オブ・イラストレーターズ・ニューヨークやアートディレクターズクラブ NYなどから数々の賞を受賞している。

ワシントンDCにあるスミソニアン・インスティテュートでワークショップやレクチャーを頻繁に行っている。また、作品はLibrary of CongressやパリにあるMusée Militaire de Franceの永久コレクションにもなっている。

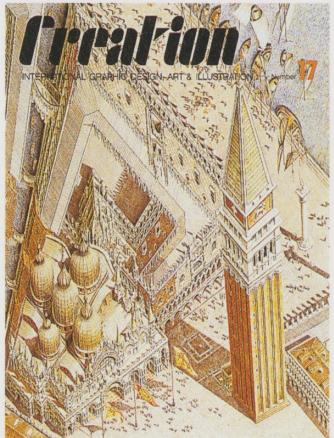
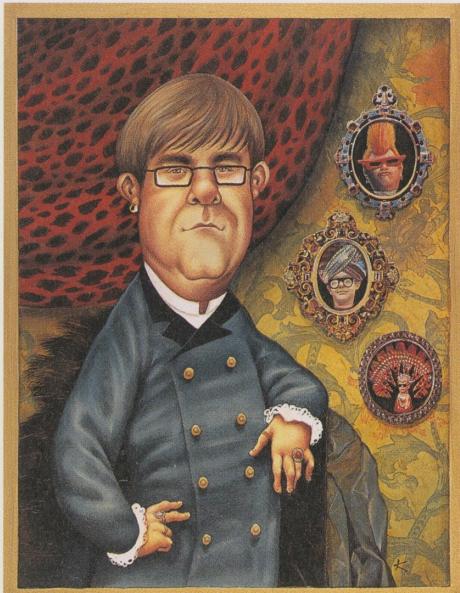
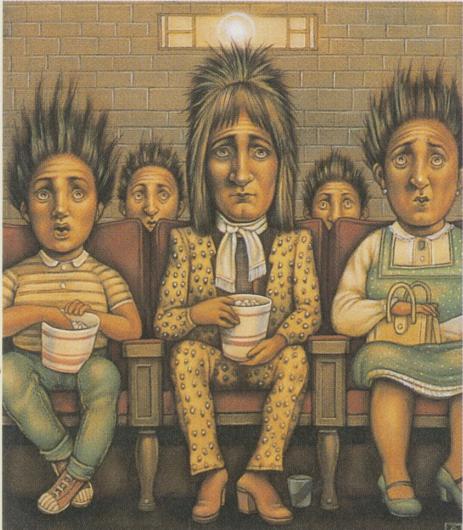
## 第22回クリエイション紹介作家

『エスクァイア』誌からファインアートまで

# アニタ・ Kunz原画展「PORTRAITS」

アニタ・ Kunzはカナダのトロントにスタジオを構え、全米、カナダはもとよりヨーロッパの雑誌、出版、広告などの仕事で国際的に活躍するイラストレーター。彼女の作品を見ていると、ポートレートの作品が多いということに気づく。普段、見慣れているはずの著名人のポートレートも新鮮に映る。それは、巧みに特徴を掴み、それを彼女独自の表現に昇華しているからだ。特に、彼女の作品を味わい深く鑑賞できるのは、エディトリアルの作品である。作品を見るだけで明確に主題は浮かび上がってくるのだが、作品とその記事の内容を照らし合わせてみると、その背景が抽出でき、より一層の臨場感が湧いてくるとともに、知的な彼女の解釈とその思考プロセスが掌握できる。今回の展覧会では、彼女の作品の中に潜むユーモア、もしくは、インパクトのあるメッセージなど、何らかの刺激を受けて頂けるのではないだろうか。

株式会社インターリンク・プランニング 岩吉隆悠



## クリエイション17号

世界のグラフィックデザイン、アート&イラストレーション

責任編集 鶴倉雄策

17号にはアニタ・ Kunzの作品16点を掲載しております。当ギャラリーにてお買い求めください。

定価:3,262円(税込み)

発行:株式会社リクルート TEL.03-3575-7074(編集部)

販売:株式会社六耀社 TEL.03-3354-4020(営業部)

その他の掲載作家/

ジョゼフ・スマクラスト、上村次敏、

オット・シュタイン、マックス・フーバー、

遠藤章、ジョージ・ギウスティ、

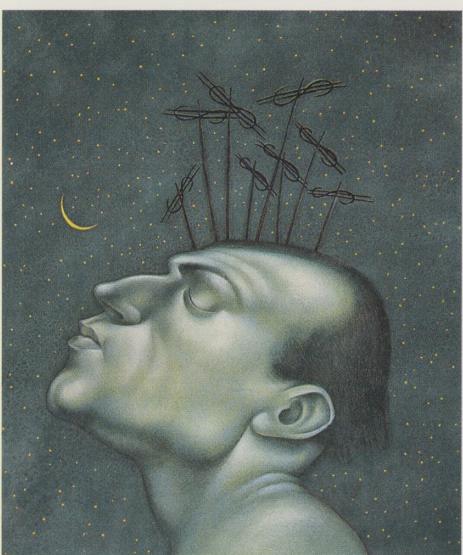
ポール・ヤロウイツ、ジョン・クレイグ

左上  
「サイコ」を観る  
ロッド・スチュワート  
(ローリングストーン誌)  
1990年

左下  
まどろむ巨人  
(ポストングローブ誌)  
1989年

右上  
エルトン・ジョン  
(ニューヨーカー誌)  
1996年

右下  
うそつき#2  
(ワシントンポスト誌)  
1988年



クリエイションギャラリー G8  
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17  
リクルートGINZAビル1F TEL.03-3575-6918

主催/クリエイションギャラリー G8

協力/株式会社インターリンク・プランニング

ART PARADISE http://www.reruit.co.jp/GG/

